

# 2011 · 2012 · 2013年度

# 鳥 取 県 設 備 投 資 動 向 調 査

# 減少に転じるが、一部に持ち直しの動き

一紙・パルプの反動減あるも、鉄鋼、電気機械、通信・情報で増加一

# 2012年8月

株式会社日本政策投資銀行 松江事務所

電話 : 0852-31-3211

住所 :松江市殿町111(松江センチュリービル8階)

# I. 調査要領

## (1) 調査目的

鳥取県における設備投資動向を把握することを目的に、毎年6月に調査を実施。

### (2) 調査方法

個別企業に対するアンケート方式により、前年度設備投資実績、当年度及び翌年度の設備投資計画について調査(調査票を送付、必要に応じ電話聞き取り等により補足)。

設備投資額は工事ベースで把握。

## (3) 調査回答期限

2012年6月20日

# (4) 調査対象企業

鳥取県に事業所を有する、原則として資本金1億円以上の企業(資本金1億円未満の一部 有力企業を含む。また、農業、林業、金融・保険業を除く)。

回答企業数は以下のとおり。

鳥取県105 社中国地方746 社全国6,754 社

なお、鳥取県に本社所在の対象企業 72 社に対しては、54 社(回答率 75.0%) からの回答 があった。

## (5) 分類基準

原則として主業規準分類(企業の主たる業種に基づき分類)で集計。

## Ⅱ.調査結果の概要

#### 1. 2011 年度設備投資実績

2011 年度の鳥取県の設備投資実績は、全産業で前年度比38.8%の増加となった。

このうち製造業は、工場新設のある紙・パルプなどが増加することから、同 103.3%の増加 となった。一方、非製造業は、卸売・小売やサービスなどで減少するものの、電力・ガスなど の増加により同 5.9%の増加となった。

#### 2. 2012 年度設備投資計画

#### (1)概要

2012年度の鳥取県の設備投資計画は、製造業では前年度比7.4%の減少、非製造業は、同1.8%の増加となるものの、全産業では同4.1%の減少見通しとなった。

### (2)業種別動向

### ①製造業(前年度比7.4%減)

鉄鋼、電気機械などで増加するものの、工場新設投資がピークアウトした紙・パルプなどで減少することから、前年度比7.4%の減少に転じる。

主要な個別業種の動向は以下のとおり。なお、( )内は対前年度増減率(2011年度→2012年度、単位:%)、 右の数値は2012年度計画額の全産業に占める構成比(%)を示す。

紙・パルプ: 工場新設投資がピークアウトしたことから減少。

 $(161.5 \rightarrow 40.0)$  25.5

鉄 鋼 : 工場移転や合理化投資などにより増加。

 $(27.1 \rightarrow 169.3) 15.4$ 

電 気 機 械 : 電子部品等の能力増強投資などにより増加。

 $(\triangle 34.0 \rightarrow 19.4) 15.0$ 

#### ②非製造業(前年度比1.8%増)

卸売・小売などが減少となるものの、通信・情報や不動産などが増加することから、前年度 比 1.8%の増加となる。

主要な個別業種の動向は以下のとおり。なお、( ) 内は対前年度増減率 (2011 年度→2012 年度、単位:%)、 右の数値は 2012 年度計画額の全産業に占める構成比(%)を示す。 通信・情報 : 伝送路高度化などの通信インフラ増強投資が続き増加。

 $(21.9 \rightarrow 141.7) 12.8$ 

不 動 産 : 賃貸不動産の改修投資などにより増加。

 $(134.9 \rightarrow 11.9) 1.0$ 

卸売・小売 : 新規出店など店舗関連投資が減少。

 $(\blacktriangle61.2 \rightarrow \blacktriangle45.4) 3.5$ 

#### (3)企業規模別動向

大企業 (資本金 10 億円以上) の投資額は、前年度比 22.9%の減少となる見通し。製造業は、鉄鋼、電気機械が増加するものの、紙・パルプなどが減少することから同 22.3%減となり、非製造業もサービスなどで増加するが、卸売・小売などで減少し同 28.4%の減少となる。

また、中堅企業(資本金 10 億円未満)については、前年度比 23.5%の増加となる見通し。 製造業は、鉄鋼や電気機械などが増加することから同 66.6%の増加、非製造業も、サービスな どで減少するが、通信・情報などで増加することから同 7.8%の増加となる。

#### 3. 2012 年度鳥取県地元企業の設備投資動向

鳥取県地元企業(鳥取県内に本社を有する企業)の2012年度設備投資計画は、全産業で前年度比14.3%の増加となる見通し。製造業は、鉄鋼や電気機械などが増加して同65.2%の増加、非製造業は、通信・情報などが増加するものの、サービスや卸売・小売などが減少することから同2.7%の減少となる。

以上

# 1. 設備投資増減率の推移

①自取退

(単位・%)

					(甲位:%)
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2012年度
	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	構成比
全産業	<b>▲</b> 31.5	<b>▲</b> 5.0	38.8	<b>▲</b> 4.1	100.0
除く電力	<b>▲</b> 47.9	20.1	54.1	<b>▲</b> 4.1	100.0
製造業	<b>▲</b> 50.5	13.0	103.3	<b>▲</b> 7.4	62.2
非製造業	0.3	<b>▲</b> 13.0	5.9	1.8	37.8
除く電力	<b>▲</b> 40.3	30.6	<b>▲</b> 7.4	1.8	37.8

(参考)

( 9)	<b>・</b> クノ
2013	年度
(計	·画)
	29.0
	29.0
	52.8
	23.1
	23.1

②中国地方

<u> </u>	)				
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2012年度
	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	構成比
全産業	<b>▲</b> 33.0	<b>▲</b> 2.7	7.5	8.8	100.0
除く電力	<b>▲</b> 37.0	<b>▲</b> 0.9	13.5	8.5	99.5
製造業	<b>▲</b> 41.9	3.2	13.6	20.7	78.8
非製造業	<b>▲</b> 15.7	<b>▲</b> 10.8	<b>▲</b> 0.3	<b>▲</b> 20.3	21.2
除く電力	<b>▲</b> 12.2	<b>▲</b> 15.6	12.8	<b>▲</b> 21.7	20.7

(参考)

(参与)
2013年度
(計画)
<b>▲</b> 3.9
<b>▲</b> 3.6
<b>▲</b> 7.7
4.3
5.5

③ 全 国

③至国					
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2012年度
	(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	構成比
全産業	<b>▲</b> 17.4	<b>▲</b> 2.4	<b>▲</b> 1.1	12.0	100.0
除く電力	<b>▲</b> 19.1	<b>▲</b> 3.6	<b>▲</b> 1.1	12.1	89.8
製造業	<b>▲</b> 31.8	<b>▲</b> 6.5	<b>▲</b> 0.7	18.1	37.3
非製造業	<b>▲</b> 6.4	<b>▲</b> 0.1	<b>▲</b> 1.3	8.6	62.7
除く電力	<b>▲</b> 6.7	<b>▲</b> 1.6	<b>▲</b> 1.4	8.1	52.5

(参考)
2013年度
(計画)
▲ 8.8
<b>▲</b> 10.6
<b>▲</b> 9.4
<b>▲</b> 8.6
<b>▲</b> 11.4
<b>■</b> 11.4

# 2. 中国地方県別増減率

(単位:%)

									(半世./0)
		2011年度				2012年度			2012年度
	全産業	(同左除電)	力)		全産業	(同左除電)	力)		全産業
			製造業	非製造業			製造業	非製造業	構成比
島根県	<b>▲</b> 10.9	20.3	29.6	<b>▲</b> 19.0	3.4	3.4	<b>▲</b> 9.3	109.4	5.4
鳥取県	38.8	54.1	103.3	5.9	<b>▲</b> 4.1	<b>▲</b> 4.1	<b>▲</b> 7.4	1.8	2.5
岡山県	35.6	42.1	24.8	52.1	14.9	13.6	68.3	<b>▲</b> 43.6	23.6
広島県	0.0	3.2	6.8	<b>▲</b> 11.6	11.3	11.2	19.6	<b>▲</b> 7.8	43.8
山口県	13.4	7.6	12.6	15.4	2.1	2.1	6.5	<b>▲</b> 24.1	24.6

# 3. 業種別動向

(<u>単位:</u>%)

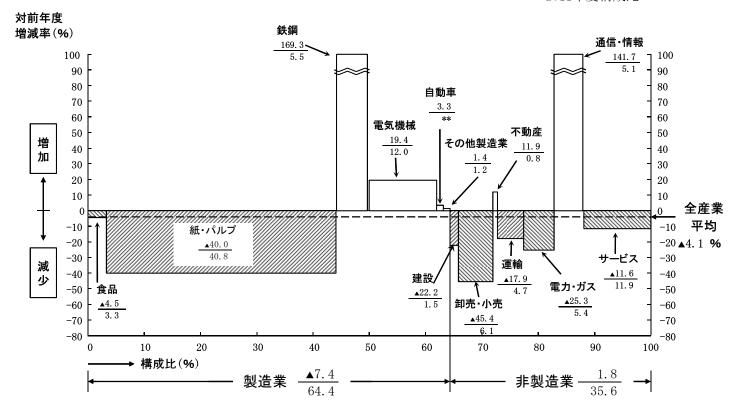
		鳥取	以県	中国	地方	全	国	12年度 鳥取県
		11/10	12/11	11/10	12/11	11/10	12/11	構成比
全産業		38.8	<b>▲</b> 4.1	7.5	8.8	<b>▲</b> 1.1	12.0	100.0
製造業		103.3	<b>▲</b> 7.4	13.6	20.7	<b>▲</b> 0.7	18.1	62.2
食	口口	6.7	<b>▲</b> 4.5	41.7	28.1	3.2	26.3	3.2
繊	維	▲ 100.0	_	75.7	<b>▲</b> 7.2	<b>▲</b> 11.9	39.8	0.0
紙	・パルプ	161.5	<b>▲</b> 40.0	63.9	<b>▲</b> 6.3	34.6	<b>▲</b> 2.2	25.5
化	学	_	_	17.1	4.1	<b>▲</b> 3.7	17.2	_
石	油	_	_	<b>▲</b> 29.5	<b>▲</b> 3.1	<b>▲</b> 22.8	55.4	_
窯	業・土石	<b>▲</b> 76.0	0.0	<b>▲</b> 21.9	<b>▲</b> 2.9	<b>▲</b> 19.7	10.6	**
鉄	鋼	27.1	169.3	<b>▲</b> 5.0	48.6	<b>▲</b> 10.7	5.2	15.4
非	鉄金属	_	<b>▲</b> 100.0	113.0	114.4	12.8	16.4	**
<u> </u>	般機械	_	250.0	<b>▲</b> 12.5	84.4	19.8	24.5	0.3
電	気機械	<b>▲</b> 34.0	19.4	12.2	23.4	<b>▲</b> 3.9	<b>▲</b> 7.4	15.0
精	密機械	_	-	<b>▲</b> 17.8	<b>▲</b> 2.3	14.9	31.4	_
輸	送用機械	123.9	3.3	49.6	15.0	<b>▲</b> 0.1	34.9	**
	自動車	123.9	3.3	54.7	25.0	<b>▲</b> 1.4	39.2	**
そ(	の他製造業	32.4	1.4	<b>▲</b> 15.1	32.3	<b>▲</b> 4.9	37.6	1.3
非製造	業	5.9	1.8	<b>▲</b> 0.3	<b>▲</b> 20.3	<b>▲</b> 1.3	8.6	37.8
建	設	0.6	<b>▲</b> 22.2	28.7	<b>▲</b> 25.7	<b>▲</b> 9.2	15.8	1.2
卸	売•小売	<b>▲</b> 61.2	<b>▲</b> 45.4	<b>▲</b> 33.3	<b>▲</b> 22.3	0.1	21.4	3.5
不	動産	134.9	11.9	169.2	<b>▲</b> 62.2	<b>▲</b> 13.4	11.4	1.0
運	輸	62.7	<b>▲</b> 17.9	<b>▲</b> 8.5	<b>▲</b> 12.6	<b>▲</b> 2.2	7.1	4.0
電	力・ガス	16.7	<b>▲</b> 25.3	<b>▲</b> 6.3	<b>▲</b> 21.4	<b>▲</b> 0.1	12.4	4.2
通	信•情報	21.9	141.7	<b>▲</b> 9.0	27.3	5.8	1.7	12.8
リー	ース	10.0	<b>▲</b> 13.6	<b>▲</b> 24.6	57.0	<b>▲</b> 28.7	12.6	0.2
サ	ービス	<b>▲</b> 45.1	<b>▲</b> 11.6	1.9	28.7	21.4	6.3	11.0
そ	の他非製造業	<b>▲</b> 94.1	900.0	37.2	9.0	5.7	<b>▲</b> 8.2	**

(注記) 統計表中、「\*\*」は1企業に関する数値であるため秘匿とした箇所である。 本資料における以下の統計表についても同様の扱いとする。

# 鳥取県業種別設備投資動向

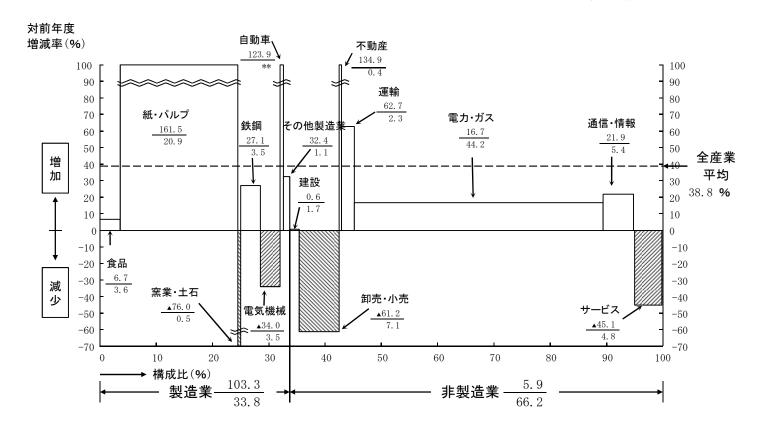
[2012年度]

(注) 数字は <u>2012年度対前年度増減率</u> 2011年度構成比



[2011年度]

(注) 数字は <u>2011年度対前年度増減率</u> 2010年度構成比



鳥取県 2011·2012·2013年度 設備投資動向

												(東	(単位:億円、%)
	2010-20	2010·2011年度対比(76件数)	76件数)		2011 - 201	2011·2012年度対比(105件数	105件数)			2012-20	2012-2013年度対比(65件数	65件数)	
							構成比	罪				構成比	沈
	10年度実績	11年度実績	11/10	11年度実績	12年度計画	12/11	11	12	12年度計画	13年度計画	13/12	12	13
全産業	103	143	38.8	124	119	-4.1	100.0	100.0	83	29	-29.0	100.0	100.0
製造業	32	71	103.3	80	74	-7.4	64.4	62.2	22	72	-52.8	68.7	45.7
食 品	4	4	6.7	4	4	-4.5	3.3	3.2	4	6	145.4	4.5	15.7
繊 維	0	0	-100.0	0	0	1	_	0.0	*	**	100.0	**	**
紙・パルプ	22	26	161.5	20	30	-40.0	40.8	25.5	30	0	-100.0	35.9	ı
秦 羽	0	0	1	0	0	1	_	Ī	0	0	1	1	1
甲 旦	0	0	1	0	0	1	_	1	0	0	1	1	1
<b>上工・業</b> 業	1	0	-76.0	*	*	0.0	**	*	**	**	0.0	**	**
鉄鋼	4	5	27.1	7	18	169.3	5.5	15.4	18	13	-31.0	21.9	21.3
非鉄金属	*	*	1	**	*	-100.0	**	**	**	**	1	**	**
一般機械	*	*	1	0	0	250.0	0.1	0.3	**	**	-100.0	**	**
電気機械	4	2	-34.0	15	18	19.4	12.0	15.0	2	2	-2.9	2.0	2.8
精密機械	0	0	1	0	0	1	1	_	0	0	1	I	1
輸送用機械	*	**	123.9	*	*	3.3	**	**	*	**	-3.2	**	**
(車傾目)	*	**	123.9	**	**	3.3	**	**	**	**	-3.2	**	**
その他製造業	1	1	32.4	1	1	1.4	1.2	1.3	1	1	-12.8	1.8	2.2
非製造業	89	72	5.9	44	45	1.8	35.6	37.8	26	32	23.1	31.3	54.3
群 設	2	2	9.0	2	1	-22.2	1.5	1.2	0	0	-46.2	0.2	0.1
卸売・小売	7	3	-61.2	8	4	-45.4	6.1	3.5	1	3	265.6	1.1	5.7
不動産	0	-	134.9	1	_	11.9	0.8	1.0	-	5	464.2	1.1	9.1
運輸	2	4	62.7	9	5	-17.9	4.7	4.0	3	4	23.3	3.5	6.1
電力・ガス	46	53	16.7	7	5	-25.3	5.4	4.2	5	9	11.8	0.9	9.4
通信•情報	9	7	21.9	9	15	141.7	5.1	12.8	15	13	-14.1	18.1	22.0
リース	0	0	10.0	0	0	-13.6	0.2	0.2	0	0	I	1	1
サービス	5	3	-45.1	15	13	-11.6	11.9	11.0	-	1	6.3	1.1	1.7
その他非製造業	*	*	-94.1	**	*	900.0	*	*	**	*	0.0	*	*

設備投資増減率の長期推移

2007
2000 2000 2000
) ( 🔺 11.9) (
2 ▲ 16.5 41.5
4.8 ► 5.2 I8.9
8) ( • 6.2) ( 17.
27.0 11.7 36.1
$17.1)$ ( $\blacktriangle$ 4.2) ( 26.1
65.6 ▲ 2.9 25.
14.0 18.2 40.2
$13.0$ ) ( $\blacktriangle$ 5.5) ( $27$ .
16.6 3.8 34.3
10.0) ( <b>A</b> 7.7) ( 27.8
29.4 ▲ 9.3 32.2
10.7 11.7 35.3
3.6) ( <b>A</b> 5.8) ( 22.8
8 5.8 ▲ 10.
0 14.4 2.
0 1.0 31.
4 9.0 7.
9 8.8 7.

(参考) 鳥取県調査時点別伸び率推移

		前年8月 (翌年度計画)	当年2月 (当初計画)	当年8月 (修正計画)	2月見込	8月実績
		前年6月 (翌年度計画)	前年11月 (翌年度計画)	当年6月 (当年度計画)	11月計画 (修正計画)	6月実績
	1997年度	<b>▲</b> 0.3	44.1	37.8	32.3	19.3
全	1998年度	<b>▲</b> 15.2	<b>▲</b> 33.3	<b>▲</b> 30.3	<b>▲</b> 35.2	<b>▲</b> 38.3
	1999年度	<b>▲</b> 0.2	<b>▲</b> 2.7	<b>▲</b> 5.6	▲ 8.3	<b>▲</b> 13.3
産	2000年度	<b>▲</b> 20.0	30.1	37.4	38.7	38.0
	2001年度	▲ 28.2	<b>▲</b> 34.2	<b>▲</b> 24.3	<b>▲</b> 34.9	<b>▲</b> 32.8
業	2002年度	▲ 22.7	<b>▲</b> 2.7	<b>▲</b> 13.8	▲ 8.0	<b>▲</b> 18.5
	2003年度	▲ 20.9	<b>▲</b> 6.0	0.2	*	<b>▲</b> 1.2
	2004年度	<b>▲</b> 10.3	*	4.6	11.2	2.0
	2005年度	▲ 7.1	▲ 13.9	3.0	6.5	▲ 10.9
	2006年度	13.9	11.8	22.1	*	29.9
	2007年度 2008年度	2.3	*	▲ 20.0	*	▲ 20.6
	2009年度	9.1	*	7.8	*	<b>▲</b> 35.2
	2010年度	<b>▲</b> 2.6	*	<b>▲</b> 20.7	*	▲ 31.5
	2010年度	<b>▲</b> 5.2 <b>▲</b> 7.5	*	46.7	*	<b>▲</b> 5.0 38.8
	2012年度	▲ 21.8	*	<b>▲</b> 4.1	Υ	30.0
	2013年度	▲ 29.0	<i>T</i>	<b>▲</b> 1.1		
	1997年度	<b>▲</b> 5.5	80.2	64.5	60.0	41.1
製	1998年度	<b>▲</b> 38.3	<b>▲</b> 51.8	<b>▲</b> 53.2	<b>▲</b> 52.9	<b>▲</b> 51.5
	1999年度	<b>▲</b> 26.4	<b>▲</b> 19.6	<b>▲</b> 39.0	<b>▲</b> 40.2	<b>▲</b> 39.4
造	2000年度	▲ 58.9	108.0	102.3	108.5	113.2
	2001年度	▲ 29.6	<b>▲</b> 46.5	<b>▲</b> 35.5	<b>▲</b> 46.8	<b>▲</b> 40.1
業	2002年度	<b>▲</b> 23.6	3.2	<b>▲</b> 25.5	<b>▲</b> 20.5	<b>▲</b> 15.9
	2003年度	<b>▲</b> 59.0	13.6	<b>▲</b> 5.9	*	14.0
	2004年度	<b>▲</b> 24.6	*	6.1	10.9	<b>▲</b> 2.2
	2005年度	<b>▲</b> 61.4	<b>▲</b> 62.7	0.7	6.9	<b>▲</b> 16.5
	2006年度	27.4	16.5	20.2	*	41.5
	2007年度	41.8	*	▲ 35.8	*	▲ 32.3
	2008年度	25.8	*	10.7	*	<b>▲</b> 19.0
	2009年度	▲ 22.5	*	▲ 36.7	*	▲ 50.5
	2010年度		*	5.1	*	13.0
	2011年度 2012年度	19.1	*	118.5	*	103.3
	2012年度	▲ 40.4 ▲ 52.8	*	<b>▲</b> 7.4		
	1997年度	0.0	1.6	10.3	3.6	<b>▲</b> 2.9
非	1998年度	<b>▲</b> 12.8	<b>1.</b> 0 <b>▲</b> 4.7	0.0	<b>▲</b> 10.8	▲ 19.9
71	1999年度	1.7	9.7	22.8	17.8	9.2
製	2000年度	<b>▲</b> 12.6	<b>▲</b> 2.9	6.5	3.5	1.7
	2001年度	<b>▲</b> 28.0	<b>▲</b> 21.7	<b>▲</b> 12.9	<b>▲</b> 22.7	<b>▲</b> 26.2
造	2002年度	<b>▲</b> 22.6	<b>▲</b> 6.8	<b>▲</b> 4.7	<b>▲</b> 0.4	<b>▲</b> 19.7
	2003年度	<b>▲</b> 17.1	<b>▲</b> 16.0	3.2	*	▲ 8.5
業	2004年度	▲ 8.6	*	3.7	11.5	4.8
	2005年度	<b>▲</b> 4.5	<b>▲</b> 4.9	4.7	6.3	<b>▲</b> 5.2
	2006年度	9.1	9.8	25.1	*	18.9
	2007年度	<b>▲</b> 12.5	*	<b>▲</b> 6.2	*	<b>▲</b> 10.7
	2008年度	3.7	*	5.4	*	<b>▲</b> 48.1
	2009年度	3.2	*	5.5	*	0.3
	2010年度	<b>▲</b> 9.5	*	▲ 0.8	*	<b>▲</b> 13.0
	2011年度	▲ 20.4	*	6.5	*	5.9
	2012年度	<b>▲</b> 4.7	*	1.8		
<u> </u>	2013年度	23.1	Ph D = D	[施た] のため該当	long the second	

注1:2004年2月調査及び2006年以降の11月調査は実施なしのため該当部分は\*表示注2:2004年度より調査月を6月と11月に変更